

グランボア

GRAND BOIS

pour tous les cyclotouristes

すべてのシクロツーリストのために

旅の相棒自転車、
ランドナー

RANDONNEUSE
Mon Vélo Mon Ami

2024
Printemps



旅する自転車、ランドナー

自転車だから楽しい旅。

ランドナーだから気持ちいい道。

70年も前から使い続けられてきた日本のランドナーは
長い年月をかけて旅行用自転車としてのスペックを磨き上げてきました。

こちらの自転車は黒い部品にも似合うランドナーをと考えて作りました。
フレームは見る角度によって色味が変わる特別な塗装方法で塗られています。

目指したのは、カラスの黒、というかカラスの瑠璃色。

カラスは漆黒といわれますが、光が当たると実はとても美しく青に輝きます。
どんな時代でも自然に溶け込むランドナーを作っていきたいと思っています。

旅のノウハウがしっかり詰まった自転車であなとも旅に出ませんか？
まずは、あなたの体と旅の目的にぴったり合った自転車をお作りします。

A pleasant journey because it's a bicycle.

A road that feels good because it's a randonneur.

Japanese randonneurs have been in use for 70 years.

Over the years, we have refined its specifications as a touring bicycle.

Below bicycle was designed with the idea of making a randonneur that also looks good with black parts.

The frame is painted with a special paint method that changes color depending on the angle you look at it.

The color we aimed for was crow's black, or rather crow's lapis lazuli.

Crow is said to be jet black, but when light hits it, it actually glows a very beautiful blue.

We want to create touring bicycles that blend in with nature in any era.

Why not take a trip with a randonneur that is full of travel know-how?

First, we will build you a bicycle that perfectly fits your body and the purpose of your trip.



INDEX

フルオーダーモデル -Full custom made-

Type Contemporaly - 黒で組むランドナー 650B-

Type Vintage -1950 年代がよみがえる-

Type Contemporaly - エルゴレバーで輪行ツーリング-

Type Contemporaly - SUS フレームランドナー -

Custom Products - カスタム製品 -

ツーリングレポート 1. -Touring Report-

Vintage Randonneur - 伊藤アトリエ長の新車 -

ランドナーと共に四国フェリー旅 - 船中 2 泊・現地 1 泊 -

レストア施工例 -Restoration-

デローザ De Rosa 1974

セミオーダーモデル -Semi custom made-

ER の特徴 -What is ER?

作例 -ER Basic・ER New Bike

ツーリングレポート 2. -Touring report-

春の島旅 沖縄・沖永良部島・与論島



GrandBois CrMo frame chromed and painted Candy Blue (Crow's azure) / Headset GrandBois Vintage / BB TA Titanium / Cranks SUNXCD / Chainrings GrandBois Cinqfeuille Nrrw Wide 36T / MKS Sylvan touring NEXT Ezy Superior / Hubs GrandBois LFQR 28H with processing of large diameter decorative holes / Rims GrandBois Papillon 650B / Tires GrandBois Hetre 650x42B Route Forestiere / Rear derailleur Sram Rival 1 / Shift & Brake lever Sram Rival 22 / Chain YBN Ti / Cassette Sunshine 11-36 / Brake GrandBois Milan NC / Fender HONJO H50C / Saddle Ideale 90 TiAL with a rivet engraved GrandBois / Seat post DIA-COMPE / Handle GrandBois MM / Stem GrandBois Alloy / Bar-Tape GrandBois Leather black / Rack GrandBois ER Pannier / Light CATEYE VOLT800 / Tail light LUNE / Bottle cage Nitto 500

グランボア フルオーダー



ギャラリーページ

GRANDBOIS Randonneur 650B VINTAGE

グランボアで 1950 年代が蘇る

フランスのランドナー最盛期を彷彿とさせるグランボアを製作させていただきました。とても希少なガイド付き 6 速シクロランドナーを V ブラケットでフレームにマウントして、フロントメカはロッド式、W ワイヤー式のシクロランドナー変速レバーにはワイヤーレスポンスをよくするためにエキセントリックレバーを製作しました。細部まで手作業を惜しみなく注ぎ込んだグランボアのランドナーです。

GrandBois CrMo frame chromed and painted Black / Headset GrandBois Vintage / BB Stronglight / Cranks New Rene HERSE / Chainrings Rene HERSE replica / Pedal Leotard 23 / Hubs Maxicar / with special Huret wing nuts / Rims GrandBois Papillon vintage 650B / Tires GrandBois Cypre 650x32B /Rear derailleur Cyclo randonneur 6vit / Front derailleur GrandBois special rigid / Shift lever Cyclo GrandBois eccentric / Chain Renold / Freewheel Cyclo 72 / Brake Mafac Criterium / Brake lever Mafac / Fender GrandBois PJ650 / Saddle Ideale 90 Dural / Seat post Grandbois / Handle Philippe randonneur / Stem Rene HERSE replica / Rack GrandBois / Light Jos 431C & FS / Dynamo Soubitez 12N / Pump Ad-Hoc



クロモリフレーム CrMo



ソリッドな変速のロッド式フロントメカ。6速メカのシクロに対応したエキセントリックレバー。ワイヤーの弛みを取る。際立たせます。シートステーのフタをメッキ出しし、



シクロランドナーは 6 速モデルで 5 速のフリーホイール + チェンレストをカバーします。さらにマキシカーのリアハブのハブ軸右側をシャブが出っ張らないウィングボルト仕様に改装しています。チェンレストにチェーンをかけて、右のウィングボルトを外せば、手を油で汚すことなくホイールの着脱が可能です。



GRANDBOIS FULL CUSTOM

グランボア フルオーダー



ギャラリーページ



グランボアではオリジナルのフレームエンドを使用しています。自転車屋としての拘りは細部にわたります。

GRANDBOIS Randonneur 650B Contemporary エルゴレバーで輪行ツーリング

カンパエルゴレバー仕様のイーザーリンコウ・オヤカタ号です。
11 速アテナのコンボをスギノOX901クラシックのチェーンホイールでまともしました。SONのダイナモハブでフェンダー先端の高輝度ライトと、シートチューブに直付けしたキムラのLEDテールに給電しています。電装コードはステアリングコラムに接点を組み込んですべてフレーム内にフェイドイン。コンパクトなサイドバッグ用の枠を備えたフロントキャリアはグランボアのオリジナル。キャリアを外すことなく袋に入れられるので輪行も楽々です。

クロモリフレーム
CrMo



GRANDBOIS FULL CUSTOM



GrandBois CrMo frame painted RH sky blue / Headset GrandBois Vintage / BB SUGINO MB608/ Sugino OX901 Classic chainwheels / Front hub SON 28 SL/Rear hubs GrandBois LFQR / Rims GrandBois Papillon 650B / Tires GrandBois 650x42B Hetre Route Forestiere / Deraillieur Campagnolo Athena 11s 12-29 / Brake GrandBois Milan NC / Fender Honjo H50N / Saddle brooks Team Professional / Seat post Campagnolo RECORD / Handle GrandBois FR-G / Stem GrandBois CrMo 70mm / Rack GrandBois ER Pannier / Head light B&M IQ-XS / Tail light KIMURA TL-06D / Bottle cage Nitto R / Bar-tape Grand Bois Leather

グランボア フルオーダー



ギャラリーページ

GRANDBOIS SUS Randonneur 650B

ステンレスランドナー

京都を走るためのランドナーをフランス人のお客様からご注文いただきました。

GrandBois stainless steel frame / Headset GrandBois Rinko / BB Tange LN-7922 / Cranks Sunxco / Chainrings GrandBois Cinq Feuille 43-27 / Hubs GrandBois Lfqr 36H / Rims GrandBois Papillon 700C 36H / Tires GrandBois 700x30C / Rear derailleur Microshift RD-R47 / Front derailleur Microshift FD-R52S / Shift lever Shimano SL-R400 / Chain Shimano HG71 / Cassette Shimano HG51 11-28 / Brake GrandBois Chouette 2632 / Brake lever Grandcompe GC202Q / Fender Honjo H31N / Saddle Ideale 90 Ti / Seat post GranCompe / Handle GrandBois FM41 / Stem GrandBois AI / Rack GrandBois Stainless steel / Front Light SON Edelux□ / Dynamo SON 28 SL / Tail light Kimura TL-06D



GRANDBOIS FULL CUSTOM

ステンレス
フレーム
SUS



GRAND BOIS made by OYAKATA

TOEI Randonneur

TOEI ランドナーオーダー代行

日本が誇るハンドメイドフレーム工房、東叡社のオーダー代行も承ります。スタンダードフレームを持ち込まれての組みつけもお気軽にご相談ください。



グランボア カスタム製品



ホイール見積もりサイト

GRANDBOIS CUSTOM-CARRIER

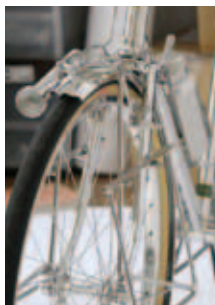
カスタムキャリア

自転車にピッタリ合ったキャリアは美しいだけでなく、バランスよく丈夫です。
ご使用予定のバッグと自転車をお持ち込みいただければ、ご希望の形に製作します。

作例



スクエアタイプ



ステンレス製パニア



RH 用リアキャリア



電装コード内蔵フロントキャリア



GRANDBOIS CUSTOM-WHEEL

カスタムホイール

グランボアのリム・ハブを使ったホイール組はもちろん、お手持ちのリム・ハブをお預かりしてのホイール組も承ります。オーナー様のご使用方法や体格などを考慮して適正なホイールを組み上げます。

■ホイール組工賃

- ・スタンダード 1本 5,000円 (税別)
- ・ヴィンテージまたは中古リムを使用する場合 1本 6,000円 (税別)

☆中古パーツはオーバーホールが必要な場合がございます。オーバーホールの要否とその費用は、パーツを受領したあと状態を確認してから当店よりご案内いたします。

☆グランボアのハブとリムを一緒にお買い上げの上、ホイール組をご注文いただくとセット割として工賃を1,000円引とさせていただきます！



GRANDBOIS CUSTOM-PAINT

塗装

グランボアの塗装は専任の職人が行っています。
スタンダード塗装はもちろん、ヴィンテージ自転車の再塗装、タッチアップ、線引き、手書きロゴなどにも対応します。
お好みの色見本をお持ちいただければその色にお塗りします。

■フレーム&フォーク一式 塗装工賃

- ・単色 35,000円～ (税別)
- ・メタリック +5,000円 (税別)

☆再塗装の場合、剥離代が15,000円(税別)が必要です。

小さな凹みの修正や追加の加工なども同時に施行することも可能です。



一言で「青色」といってもいろいろあります。楽しく悩んでください。

グランボア フルオーダー

GRANDBOIS Randonneur Easy RINKO VINTAGE

伊藤アトリエ長の新車

「憧れを形にする」

日頃、グランボアの作業場で様々なオリジナルパーツやカスタムキャリア、セミオーダーのフレームなどの製作にあたってはアトリエ長が、自分のための自転車を作りました。決まったデザインの中でのモノづくりとは異なり、憧れていた思いを形にする作業です。どんな走りか、憧れていた部品や仕様を軸に自転車を設計していきます。

【テーマ】

輸送が簡単なライトキャンピング

【使ってみよう憧れパーツ】

- ・650 × 32B タイヤ
- ・HURET JUBILEE (1970年代のフランス製変速機)
- ・ジルベルトウ セパレートパニア
- ・18インチのヴィンテージポンプ、ゴム帯チェーンプロテクター、アウトアーリード

フルオーダーで自転車を作る1つの理由

学生時代から乗っているランドナーはフレームのエンド幅 130mm の現行部品で組まれたモダンランドナーです。いろいろと経験を重ねるうちに古い部品の魅力が理解できるようになり、それらを既存のフレームに組み込んで使ってみたりするようになりました。フルオーダーはフレーム設計から始めるので使いたい部品に合わせた自転車づくりが可能です。今回もジュビリーに合わせてエンド幅 126mm で製作し、使ってみよう小物やワイヤーの取り回しも理想を具現化でき、すっきりとまとめることができました。



ワイヤー類はすべてフレームに直付けしたワイヤーリードで外だしてアッセンブル。

グランボアオリジナルの ER 用フロントパニアは輸送時にも取り外さずに輸送する事が可能です。親方と専務は現行部品で組んだランドナーに愛用していますが、シンプルで機能的なこの形はヴィンテージ車にも十分マッチします。パニアバッグ用の支柱と横棒は使用しない時は、ライトの取り付け方法を変えることなく取り外すことも可能です。



ジュビリーのイメージとしてはスポルティーフについている印象ですが、これをキャンピング車で使ってみよう！というのが最初のアイデアでした。よく壊れるという話を耳にしますが、初めてなので壊れるまで使ってみようと思っています。

オーダーらしさを出したくてタイヤは 650 × 32B のシンプルを選びました。TypeER では 36B-42B が適正サイズなので 32B はオーダーしなければなりません。タイヤが小さいのでその分肩下寸法が短くなり、シートチューブ芯で 520 のフレームですが、小ささを感じさせないそんなジオメトリも狙っていました。そして荷物もそれなりにしか載せないライトキャンピング車であれば 32B で十分であろうとも思ったわけです。

もっと詳しい解説は QR コードからブログを見てね！

ランドナーと共に四国フェリー旅



ランドナーと共に四国フェリー旅

ENJOY THE RIDE

アトリエ長が新車で友人たちと早速旅に出ました。

行程はたったの3日間。南港からオレンジフェリーで行く四国への旅は、船中2泊、現地1泊という強行軍ですが、船旅の良いところがいっぱい詰まったおすすめプランです。

あなたの旅のヒントがきっと見つかりますよ！

UFO ライン / 瓶ヶ森林道 - 高知県

UFO LINE

石鎚山へと続く尾根道

西日本最高峰の石鎚山(1982m)を背景に伸びる全長約27kmの町道(高知県の町)です。標高1,300m~1,700mの尾根沿いを縫うように走るルートは、天空へと続くかのような絶景が臨めます。(11月下旬~4月上旬は冬季閉鎖)

宿泊はUFOラインを登り切った先の土小屋にある「白石ロッジ」(1492m)。

走行距離は60km,2300mUPに800mDOWNという初日でした。



石鎚スカイライン - 愛媛県

ISHIDUCHI SKYLINE

石鎚山の南側にあり、宿泊した土小屋からだと愛媛県面河溪への爽快な下りとなります。

2日目はその石鎚スカイラインを下り、黒森峠を越え、西条へ。22時出港のフェリーで帰途に就くのでした。





DE ROSA 1974

DE ROSA Mod. Strada Record Elaborata



1974年のカタログモデルを作ってほしいというお客様のご要望にお応えしました。

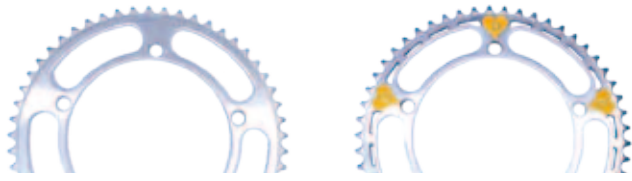
カタログのフレームカラーのオリジナルはありませんので、本体のガンメタリックと胴抜のゴールドをともにカタログをもとに、幾度も色見本パイプを製作して色づくりを行っています。

DeRosa 1974 catalog model replica
Campagnolo record group set with DeRosa hole marks.170mm cranks
53/42 rings 32H hubs /Martano rims / Vittria tubulars / Sacchetti spokes /
Regina freewheel / Everest chain / TTT handle & bar / Unicanitor saddle
/ ALE toe clips & Binda straps



ベースとなる車体はイタリアで年式の一致しそうな車体を捜し出しました。DEROSAの刻印パーツはほぼ揃っていて、痛みも少ないようです。

グランボア レストレーション



お客様は純正のカンパの新品リングにデローザの刻印のはいたものをご希望です。世に出回っているレプリカの刻印リングは純正カンパリングではありません。まずは中古のカンパリングを用意して刻印データを作成の上 NC 加工で肉抜き加工と刻印を入れます。細かなデータ修正を行ってから別途用意した新品のカンパリングへ加工を施します。

今回すべてのパーツをポリッシュ仕上げにしてほしいとのこと、新品のリングを含めてすべてのパーツはアルマイトを剥離してポリッシュ仕上げとなります。最後に塗装屋さんで黄と黒のペイントで刻印への色入れを行います。



もっとも大変だったのがユニカのサドルです。もはやほとんど新品のユニカは出てきません。在庫の中から最もコンディションの良いバックスキンタイプのユニカを選び、表面をいったん黒の染料で染め直し、サドルサイドのユニカマークを入れ直しました。ユニカのマークは押し型を製作して、複雑なサドルサイドの曲面に合わせて印字してから、面相筆でかすれてしまう箇所を補筆して仕上げています。

グランボア セミオーダー



輪行関連ページ



ERモデル作例ページ



完成車見積もりサイト

セミオーダーとは、フレームサイズとタイヤサイズを規定の中からお選びいただき、ご予算や使いたいシーンに合わせて仕様を決めていただくモデルです。フレームカラーは自由、使いたいパーツは持ち込んでいただいてもかまいません。完成車でのご注文はフレーム関連以外のパーツが2割引。ご自身で組み上げたいという方にはフレームと泥除け、キャリアなどのER必須パーツのみをセレクトしたERベーシックをご用意。いずれもフレーム設計が省ける分、大変お得な設定となっています。

イージー輪行

Easy RINKO

グランボアのセミオーダーフレームは泥除けが前後ともとても簡単に脱着できる仕組みが標準装備されています。わずかなステップでロードバイクと同様に輪行することができ、必要に応じて更にコンパクトにできるフォーク抜き輪行も可能です。

イーアール 650

ER650

フレームサイズ
480/500/520/540/560/580/600/620mm
タイヤサイズ 650 × 36B/38B/42B

イーアール 700

ER700

フレームサイズ
510/530/550/570/610mm
タイヤサイズ 700 × 28C/30C



イーアール ベーシック

ER Basic

自転車を組み上げることができる方にはこれ。グランボアのエッセンスがしっかり詰まっています。工具や経験がないと難しいと思われる泥除けのセッティングは済ませた状態でお納めします。

作例 1

ER650 Basic 620mm

市販品ではまずないこのサイズも対応可能。



組み上げる楽しさも味わえる。

ERフレーム&フォーク+以下付属

- ・ヘッド小物 + 前後アウター受
- ・ER加工済み泥除け + 小物一式
- ・ERフロントキャリア
- ・シートピン
- ・BB 下ケーブルガイド
- ・センタープルブレーキ シュエット
- ・好きな色に塗装
(メタリックは税込 5,500円アップ)

ERベーシックセット

¥ 270,000

(税込 ¥ 297,000)

作例 2

ER650 Basic + 650B wheel

ホイール付きだと更にグランボアが味わえます！



カンチブレーキがお好みの方にはカンチブレーキ用の台座をご用意します。他にもテールライト用の台座の追加も可能です。お気軽にご相談ください。

※ホイール代は別途必要です。

グランボア セミオーダー



ギャラリーページ

ER650

エアボリュームが豊富で快適な 650 × 42B タイヤ、信頼性の高い 8 速ドライブトレイン、握り心地の良いフランス型ランドナーバーと、いったグランボアランドナーの基本スペックに、荷物の積載量を向上させる日東キャンピーを追加した輸行もできるキャンピング車です。



Frame GrandBois ER650 560mm/Color RollsRoyce White/Headset GrandBois Rinko/BB Tange LN7922/Crank SUNxcd/Chainwheel TA Pro5vis 44-28T/Hub GrandBois LF hub/Rim GrandBois Papillon 650B 36H/Tire GrandBois Hetre 650 × 42B std/F&R Deraillleur MicroShift/Shift lever Shimano SL-R400/Chain Shimano CN-HG40/Cassette Sprocket Shimano CS-HG50 13-26T/Pedal MKS Sylvan touring/Brake GrandBois Chouette3642 CenterPull/Brake lever Dia-compe GC-202Q/Fender Honjo H47/Saddle Giza/Seat post Grungeo/ Handlebar GrandBois FR410/Stem GrandBois AL 70mm/Bell Universal AL/Bar-tape Dixna/Front Rack Nitto Campee/F&R light Cateye HL-EL160, SLR-120

Modify

クロモリフレームの良いところは、年月が経って自転車の使い方が変わったとしても、その時に応じた仕様変更が可能です。写真は 2010 年製作のグランボアの入門モデルですが、月日を経て街乗り用のポーターにモディファイ中です。チェーンケースの付いた素敵なポーターに生まれ変わる予定です。

グランボアのセミオーダーは、基本のフレームデザインの変更はできませんが、ブレーキ台座、テールライトの直付け台座、キャリアのダボなど、多少の追加・変更は可能です。



春の島旅 - 沖縄・沖永良部島・与論島 -



旅先での出会いが次の旅のヒントになる。
京都から遠く離れた南の島へ、自転車と一緒にどうすれば行けるのか。
プランを立てるところから存分に楽しみました。

Sometime, encounters on the road will give you a hint for your next trip.
How can we go to a southern island far away from Kyoto with bicycles?
We enjoyed ourselves to the fullest from the planning stage.

ENJOY THE RIDE



与論島への路 Route to YORON-ISLAND

ランドナーツーリングで大変かつ、オモシロイのが旅の行程を組むことです。
今回は、無理なく無駄なく自転車旅行を楽しむための「旅のプランニング」を中心にご紹介します。

プロローグ

わたしたちの旅はいつもテーマを持って計画を立てます。
テーマといっても堅苦しいものではありません。北の「丹頂鶴」を見た後では南の「真鶴」が旅のテーマとなり、北海道の西側を旅するときは常に見えるであろう「利尻山」が旅のテーマでした。
今回の旅は一昨年春の旅で出会った女性との会話がきっかけです。
「与論へ行ったことある？」
帰りの列車に乗り遅れそうになりながら輸送している私たちに語るその女性はおそらく80代。
その女性がそれまで一番旅してよかったのが与論島だということです。
それは行かなくちゃって次のテーマが決まったわけです。

プランニングスタート

行先が決まれば折を見て様々なアプローチを考えます。
その時、考慮すべきは「日程」と「予算」、そして自分たちが楽しく走れる「一日の走行距離」。
与論島には小さいながらも飛行場がありますので飛行機で行くこともできるのですが、ちょっとした国際線並の費用が掛かってしまいます。別に急ぐ旅ではないので船を中心に考えます。
奄美諸島には鹿児島から沖縄への定期航路のフェリーがあり、マルエーフェリーとマリックスラインの2社が交互に運航して毎日定期船が行き来しています。見出しの画像の船がマルエーフェリー。大きな船です。

まず時刻表を調べます。鹿児島から沖縄行きは下の表のとおりです。

鹿児島	名瀬	島津	船泊	与論	本原	船橋
出18:00	28日 入05:00	入09:10	入11:30	入13:40	入16:40	入19:00
	28日 出05:50	出09:40	出12:00	出14:10	出17:10	

これでまず考えたのが「奄美諸島をすべて走れないか」という事でした。鹿児島まで九州新幹線を使い、鹿児島からフェリーを使って島から島へ渡っていくのです。奄美大島・徳之島・沖永良部島・与論島、そして沖縄本島へと。とても楽しそうです。

では、そのプランに沿って早速地図上で走れそうなコースをざっと検討してみましょう。
インターネットがあれば簡単に見れるグーグルマップで大丈夫です。

奄美大島のフェリー乗り場は名瀬港です。私たちの1日の走行距離は、海岸線の緩いアップダウンを想定しても60~70kmほど。名瀬を起点に走るとなると、島の北部を1日、南部を2日かけて走ることに必要、最低でも3日の行程が必要です。実際にはもう少しあちこち寄り道しながらです。プラス1日の4日は欲しいところです。次の徳之島も一周は60km程度で一泊したいところです。沖永良部島も同様で一泊、そして与論島には最低2泊と最初から決めていましたので、奄美諸島で計8泊となります。鹿児島までは1日で行けるとしても奄美大島までは船中泊です。帰りは沖縄から飛行機を使ってももう一泊は必要となり、都合10泊11日の旅になります。う〜ん。ちょっと長い。

という経緯で、もっと短縮して与論島に絞ったプランに変更することにしました。
日程はざっくり4、5泊程度が限界です。



関空からいざ那覇へ

与論島への路

Route to YORON-ISLAND



PEACH WP



マルエーフェリー WP



やんばるバス WP

主要な移動手段を決める。

旅の拠点となる沖縄への往復は飛行機で、なんといっても安いのでLCCピーチを使うことにします。自転車は空港までは輸行状態で車で運び、飛行機の預け荷物としてチェックイン時に預けます。ピーチは輸行袋を別途料金3,900円で予約受付してくれます。自家用車は空港の駐車場を利用します。ちなみにKIX-ITMカードという関西・伊丹・神戸の各空港共通の会員カードを持っていると、駐車料金が25%割引を受けられます。正規料金11,800円が8,850円。行き帰りをふたたび輸行した場合を考えると京都北部の山間部に住んでいる私たちにとって楽々の帰途となります。(2023年3月時)

フライトは那覇行が日に3便あります。その中で一番早い便を選びます。

【往路 | MM213】

- └ 大阪(関西) 第2ターミナル
- └ 2023/02/27(月) 08:05
- ┆ ↓
- └ 沖縄(那覇)
- ┆ 2023/02/27(月) 10:35

那覇からの上りのフェリーの時刻表は以下の通り。

那覇	本部	与論	和泊	島原	名瀬	徳島
出07:00	入09:00 出09:20	入11:50 出12:10	入14:10 出14:40	入16:30 出17:00	入20:30 出21:20	徳島(夜行バス) 入08:30

朝7時のフェリーはできるなら使いたくない。

那覇空港に到着した後、11時ごろから動けるのであれば、空港バスを利用して本部まで移動することができます。そうするとその日の午後は本部にある美ら海水族館を楽しむこともできます。那覇に泊まるより本部に一泊して、翌日9:20のフェリーに乗船すればフェリーに乗るのもちょうど良い!

帰りはどうでしょう。もう一度下りのフェリーの時刻表を見ると、

徳島	名瀬	島原	和泊	与論	本部	那覇
出18:00	入10:50 出10:55	入09:10 出09:40	入11:30 出12:00	入13:40 出14:10	入16:40 出17:10	入19:00

那覇港につくのは19時です。これは那覇市内で宿泊するしかありません。ですが、帰りの飛行機を午後の便にすると那覇市内の観光も空港への途中で盛り込めます。

【復路 | MM216】

- └ 沖縄(那覇)
- └ 2023/03/04(土) 14:10
- ┆ ↓
- └ 大阪(関西) 第2ターミナル
- ┆ 2023/03/04(土) 16:05

ということは、本部で1泊、那覇で1泊、与論島は2泊、そうすれば沖永良部島にも立ち寄りそうです。これで5泊6日の旅の概要が決まりました。

旅の荷物の運び方。

私たちが使用しているバッグ類は実はワンオフの手作りの品です。軽くて丈夫な生地を使用し、いろいろ試行錯誤の最中です。ですが、何度もこれらで旅しているうちにだんだん形も決まってきました。サドルバッグには輸行袋と工具類。フロントバッグにはカメラや地図、おやつ、雨具、医療品、貴重品など。パニアバッグには3日分の着替えとナップサック。

走行中は全ての荷物は自転車に持ってもらえますが、輸行時には逆に自転車を含めたすべての荷物を私たちが持たなければなりません。

パニアバッグの荷物はナップサックに移し替えて背中に背負い、サドルバッグは工具と一緒に自転車に装着し、輸行袋の中に収めます。そうすると、これだけ荷物があっても、手で運ぶ荷物は輸行袋とフロントバッグだけ。ボトルを手で持つ余裕も生まれます。



空港での手荷物預けの様子。自転車はいつもの輸行+フレームエンド金具を前後にしっかりと嵌め、タイヤの空気を抜き、袋の底にあたるリアメカもトラプル回避の為フレームから外しておきます。



那覇空港から本部へ向かうところ。距離は86km/2時間、料金は1人1,850円。自転車は無料です。料金は乗車時に運転手に支払い、自転車などの大きな荷物はバスのサイドの荷物入れに自分で入れるシステムです。



本部港のバス停は翌朝乗る船の待合所前です。ここで初めて自転車の輸行を解除します。美ら海水族館までは6kmほど。朝京都を出発して、その日の16時前後には沖縄の水族館を訪れることができます。



本部港から沖永良部島に向かうところ。船では自転車は輸行すれば手回し品扱いで無料ですが、自転車のままだと受託手荷物となり有料です。手続きも必要ですので事前に要確認です。

ENJOY THE RIDE

春の島旅 - 沖縄・沖永良部島・与論島 -

ENJOY THE RIDE

コースの検討は宿泊場所を考えながら

グーグルマップで「ホテル」のタグをクリックすれば宿の場所をいくつも表示してくれます。その中から良さげな宿の候補をクリックすれば実際の建屋や部屋、食事そして料金まで教えてくれます。グーグルマップから得られた情報をもとにBooking.comなどの予約サイトを使って宿を確保していきます。それでも一日の走行コースに合う場所に宿がないときは、グーグルはグーグルマップと連携していない宿を小さな赤い点で表示してくれるので、その宿名を更に検索して詳細を調べることができます。電話番号さえわかればこっちのもの。電話で話を聞いて、良さそうならその場で部屋を抑えることも可能です。以前は宿を捜すのに「宿泊表」という時刻表のような本が毎年発行されていました。全国の宿が掲載されていて、そこに掲載された電話番号を頼りに宿を予約していたものです。



グーグルマップでのホテルの検索表示

デジタルアプリを使いこなそう

グーグルマップには自分が必要と思った場所に目印を入れる「保存」という機能があり、その中で「行ってみたい」や「旅行プラン」など個別にマークすることができます。宿の候補地には「旅行プラン」をマークして、途中立ち寄りてみたい場所には「行ってみたい」のマークをしておきます。そうしてそれぞれの距離を「ルート・乗換」を使って結んでみます。使用する交通手段の選択ができますので、まずは車の場合のルートを表示させます。いくつかのルートが表示されますのでさらにそこに立ち寄りたい場所を経由地として入れて再表示させます。それでおおよその距離がわかります。自転車のモードで表示してくれる場合もあり、その場合は高低差を表すプロフィールマップも表示してくれます。そのコースでの獲得標高まで出してくれます。走行時間も表示されますが、そこはあくまで参考として自分の脚力で走った場合だけの時間で走ることができるかは今までのツーリング経験から推定するのが良いと思います。



衛星画像上でのルート検索。

いくつかのコースが組めればそれを衛星画像で道路の状況を確認することができ、さらにグーグルストリート機能を使って実際に走行するとどんな景色が見られるかまで確認できてしまいます。でもあまりこれをやってしまうと本番での感動が薄れてしまいますが…。



Ride With GPS

決まったコースを今度は「Ride With GPS」というアプリを使って精密に描いておきます。そうするとより正確に高低差を知ることが出来、休憩するべきところや、頑張らなければならないところも見えてきます。



Windy

世界中の風向と強さを細かく予報してくれるアプリです。サイクリストにとって大敵の風を味方につけたらこんなに強いものはありません。これである程度の風向きのあたりをつけて走るコースを考えるととても便利です。

Audible

旅する時には何かその旅先にちなんだ本を一冊持っていくと、列車や船の移動中などの楽しみになります。ですが、自転車旅は荷物の容量がかなりシビア。そこで便利なのが音読アプリです。沖縄の本部から沖永良部島への船旅は5時間に及びましたが、沖縄が舞台の「宝島」を聞きながらとても良い時間を過ごせました。



沖永良部島 OKINOERABU-ISLAND

沖永良部島には港が2つあり、お天気や潮の流れで割と頻りに着く港が代わります。この2つの港は最短距離で3キロほどで、車だとなんてことない距離ですが、自転車旅では要注意です。特に乗船時もどちらの港から出るのかは当日の数時間前じゃないと分からないので厄介です。島の人たちは風向きを読むアプリ Windy でその日の船がどちらの港に着くのかはもちろん、クジラの親子の過ごしてそうな場所まで予測していましたよ。私たちもそんなふうに使いたいです。



Fucha on OKINOERABU-ISLAND, where whales are often spotted.





Ruins of YORON Castle

与論城跡

与論島のイメージは綺麗な海と砂浜ではないでしょうか？しかし島の南には小高い丘があり、そこには1400年代に築城されたという城跡があります。標高にして100mもありませんが、島で一番の高台ですので、360度のパノラマの景色が見渡せ、与論島でのサイクリングを楽しくしてくれるポイントに違いありません。島をくまなく自転車で巡ろうとすると、幾度となくこの城跡を通ることになります。

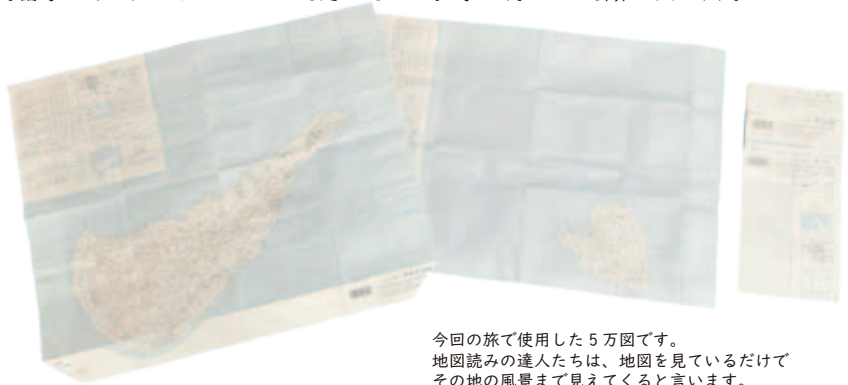


グーグルマップで見る与論島
私たちが滞在した百合が浜ビーチハウスと与論島の中心地である茶花地区は8kmほど離れています。食堂のほとんどが茶花に集中しています。小さな島ですが、ビーチはなんと60もあり、トイレも各所に充実しています。

5万分の一の地図 - アナログ地図の使い方 -

親方が実際に自転車で走るときに使う地図は、基本は必ず5万分の一の紙地図です。使い慣れた地図の等高線と距離感がないと、気持ち良く走行中のルートを選択ができないのです。細かな等高線を見ながら多少の上り下りを判断し、ルートを選択していきます。デジタルアプリでナビゲートしてもらおうと、道を間違える心配は減り便利ではありますが、バイパスなどの新しい道ができると必ずといっていいほどそちらに誘導されてしまいます。特に私たちサイクリストが走りたい気持ちの良い道にはなかなか連れて行ってもらえません。国土地理院から発行されていたこの地図ももう更新されることはありませんが、最新のデジタル地図ではわかりにくい、かつての主要道が記載されていますので、自転車で走りたくない交通量の多い道に出くわしたときに、より面白そうな道を見つけることができるのです。

今回の目的地の与論島は5万図では1枚の4分の1にすっぽり収まってしまふ大きさの島です。海岸線だけを数字にすれば23kmしかありません。ですが、今回の旅でこのアナログ地図を存分に活用し、与論島をいろんなルートで100km以上も走ってきました。島を4周以上した計算になりますね。



今回の旅で使用した5万図です。地図読みの達人たちは、地図を見ているだけでその地の風景まで見えてくると言います。



毎朝この場所でサンシンの練習をしているという方に出会いました。

この写真の一番左の端のあたりから歩いてきた私たちがずっと見ていたらしく「まさかここまで歩いてくるとは思わなかった」と話が弾みました。で、なんと、一曲披露してくださいました。とても良い思い出になりました。

今回の旅で使用した自転車です。親方は錆に強いステンレスフレームのJBT号、専務はいつものOYAKATA2号車です。詳しい旅のレポートは是非ページ右上のQRコードから「アイズのブログ」をご覧ください。(^ ▽ ^) //



サイクルگرانボア株式会社

直営店 アイズバイク

〒616-8005 京都市右京区龍安寺塔の下町1-8

Tel: 075-461-0835 Fax: 075-461-0836



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム



マップ

